

とやま

県広報とやま

2002

8月号

No.395

富山県

特集 みんなで育てよう! 元気に輝く“とやまっ子”

クローズアップ 「出前県庁」始めました



これまで登山道のなかった槍ヶ岳へのルートを整備した「ブナクラ峠修復クラブ」代表の水口武彬さん(中央)とメンバーの皆さん。後方に見えるのが槍ヶ岳(標高2002m)。

6月
7日

東京で富山の観光・物産情報を発信

「いきいき富山館」がオープン

県では、東京都有楽町に県のイメージアップや観光・物産情報の発信拠点として東京アンテナショップ「いきいき富山館」を開館しました。

これまで八重洲の国際観光会館にあった県東京事務所経済課分室の移転に伴い整備されたもので、館内ではますの寿しやかまぼこ、深層水商品など、富山の特産品約二百種を展示・販売。そのほか、県内観光地のパンフレットを常備し、インターネットによる観光案内も行っていきます。

県では、今後とも同館を利用して富山の多彩な魅力を国



東京の中心地に富山の魅力を集め、華々しくオープン

内外に発信していくこととされています。



問合せ

いきいき富山館

(東京交通会館地下一階)

☎03(3231)5032

営業時間 午前10時～午後7時

6月

26日

名実ともに日本の代表に

柳沢選手故郷へ凱旋

サッカー・ワールドカップ

に日本代表として出場した柳

沢敦選手(小杉町出身)が、六

月二十六日に県庁を訪れ、中

沖知事と会談しました。

中沖知事が、世界が注目する

大舞台での活躍に、県民みん

ながわき返った」と称賛。柳沢

選手は、今回の経験を次につな

げたい」と力強く答えました。



知事との会談後、県のイメージアップ広告ポスターの前で記者会見する柳沢選手

また、知事は柳沢選手を起用した県のイメージアップ広告に、全国から大きな反響が寄せられていたことを紹介。柳沢選手は「自分の活躍が富山県のアピールにつながれば」と意欲を見せていました。

問合せ

県庁広報課

☎076(444)3134

6月

29日

万葉のふるさとに新たな風

雨晴バイパスが全線開通

国道415号の高岡市雨晴

と伏木国分間の雨晴バイパス

が完成し、六月二十九日に開

通式が盛大に行われました。

今回整備したバイパスのう

ち最も難工事であった雨晴ト



パレードを行い、雨晴バイパスの開通を祝う関係者

ンネルは、県内で初めて両側に広い歩道が設置されるなど、自転車や歩行者の安全な通行に配慮されています。

同バイパスの完成により、

県内を代表する観光スポット

である雨晴海岸へのアクセス

が飛躍的に向上し、今後の観

光振興にもつながるものと期

待されています。

問合せ

県庁道路課

☎076(444)3320

7月

1・16日

もっと便利に、もっと気軽に

富山 東京便ダブルトラック

ク化、沖縄便季節運航開始

七月一日、富山と東京を結

ぶ空の便に日本航空が就航し

ました。富山 東京便は、これまでの全日空に加えて二社運航(ダブルトラック)となり、同日、それを祝って式典が開催されました。

式典では、中沖知事が、経済、文化、観光など幅広い分野で首都圏はもとより国内外との交流がいつそう促進される」と期待を込めてあいさつしました。



テープカットを行い、日本航空の富山・東京便の就航を祝う関係者

また、七月十六日には富山

沖縄便の季節運航が開始。

国内便六路線、国際便三路線

が就航する富山空港が今後さ

らに発展することが期待され

ています。

問合せ

県庁航空対策課

☎076(444)3463

「出前県庁」始めました

「県庁では、いつもどんな仕事をしているんだろう。」
 「新聞で話題になっているあのこと、県はどんな対応を検討しているんだろう。」
 県政に関するさまざまなご質問にお答えします。
 県民が参画する開かれた県政をめざし、「出前県庁」スタート。



県では、県民の皆さんに県政への理解を深めていただくとともに、皆さんのご意見を県政に反映させるため、今年から「出前県庁」を始めました。

「出前県庁」は、県の職員が皆さんの地域へ出向き、県の施策についてのご説明や意見交換を行うもので、「一日部」と「しごと談義」の二種類があります。

「ご参加いただく一日部」

県が、部局ごとに皆さんの地域で開催する県政説明会です。

テーマは、その時々県の重要課題から選び、開催日時や会場とあわせて県で決定します。

また、参加は無料です。お気軽にお越しください。

五月三十一日、砺波市で「一日教育委員会」が開催されました。
 テーマは、創造性豊かでたくましい行動力をもった児童生徒の育成」と、「県立高校の将来構想」。
 PTA役員、地元経済界の代表のほか、一般参加を含む約百人が出席し、活発に意見が交わされました。
 また、七月にはこのほか、「一日経営企画部」「一日生活環境部」「一日厚生部」などが開催されました。



「ご注文いただくしごと談義」

県の職員が皆さんの集会や勉強会などに出向き、あらかじめ皆さんに選んでいただいたテーマについての説明や意見交換を行うものです。

「しごと談義」の職員派遣にかかる費用は一切不要で、日時や会場はご自由に決めていただけます。テーマは六つのグループに分け、合計八十九種類を用意しました。

自治会やサークル活動での勉強会など、さまざまな機会でのご利用をお待ちしております。まずは気軽にお問い合わせください。

七月十日、魚津市立東部中学校で、授業の一環として「しごと談義」が開催されました。
 テーマは、「高齢者福祉施策」これからの道づくり」など五項目。
 生徒からは、「富山県の福祉が優れているところは？」、「街路灯が点灯する仕組みは？」といった質問があり、県の担当者から説明を受けました。



問合せ・資料請求 県庁広報課
 ☎ 076(444)3133
 FAX 076(444)3478
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/html/demae/>

ご参加・ご注文をお待ちしております

「一日部」の8月開催予定

一日教育委員会 8/2 (県民会館) 13:30 ~
 一日厚生部 8/24 (県総合福祉会館) 10:00 ~
 9月以降開催分は、随時新聞広報「県からのお知らせ」と県のホームページでご案内します。

「しごと談義」テーマ一覧と申込方法

テーマ一覧は、県・市町村窓口でパンフレットをお配りしているほか、県のホームページでご案内しています。
 申込みは、パンフレット備付の申込書(ホームページからダウンロードも可)により、実施の1ヶ月前までに県庁広報課あてに郵便またはFAXでお送りください。

「しごと談義」のテーマの例

元気で創造性豊かな人づくり

子育て支援について
 学校週5日制がめざすもの
 子どもたちに豊かなスポーツライフを

安全・安心で快適な暮らしづくり

地域の消防・防災力を高めるには
 公共交通の利用促進について
 高齢者福祉施策について

環境と調和した美しい地域づくり

循環型社会形成の推進について
 魅力ある私たちのまちづくり
 おいしい水のできるまで

知恵と技術が活きる産業づくり

富山の深層水について
 にぎわいのある商業の振興について
 農業の担い手の育成について

環日本海交流の中心拠点づくり

日本海学の推進について
 環日本海地域等との経済交流の促進
 富山空港の整備拡充について

住民と地方が主役の県づくり

行政改革の推進
 民間資金を活用した公共施設整備(PFI)について
 市町村合併について

問合せ 県庁健康課
076(444)3224



子ども、親、祖父母などの三世代が一緒に料理をしながら、健康づくりについて楽しく学んでいます。

三世代ふれあいキッチンセミナー

問合せ 県庁児童青年家庭課
076(444)3207

毎月第三土曜日、親子で県内の一般公衆浴場(銭湯)に入浴する場合、小学生以下の人浴料を無料にしています。(入浴券は小学校を通じて配布されています。)



親子ふれあい入浴の日

県では、毎月第三土曜日を「とやま県民家庭の日」と定め、親子がふれあえるさまざまな事業を実施するなど、明るく楽しい家庭づくりを呼びかけています。

家庭での家族のふれあい

問合せ あさひわんぱく遊びサークル実行委員会
0765(83)1100



地域の小学生と家族、地域の人が集まり、交流を深めながら、地域の自然の中で季節感あふれる体験活動を実施しています。

あさひわんぱく遊びサークル(朝日町)

問合せ 高岡市体育協会
0766(26)5225

高岡市体育協会などが中心となり、市内の小学生を対象にスポーツの楽しさを教えています。年間を通じて陸上や水泳、球技などさまざまな運動を楽しんでいます。



土曜っ子スポーツチャレンジ(高岡市)

県内各地では、土・日曜日などに子どもたちが気軽に参加できるたくさんの取り組みが行われています。

地域社会で育てる子ども

問合せ 福光町児童館
0763(52)3022



地域で働いている和菓子屋さん、ブローカーさん、大工さんなどが講師となり、子どもたちとさまざまな体験活動を行っています。

達人に入門(福光町)

問合せ 婦中町立図書館
076(465)4493



婦中町立図書館で、地域の方々が結成されたボランティアグループ「トマトの会」の皆さんが、物語の読み聞かせや手遊びなどを行っています。

お話しボランティアによる読み聞かせ(婦中町)

みんなで育てよう！元気に輝く“とやまっ子”



今年4月から県内の小・中学校などで、完全学校週5日制が実施されています。県内各地では、子どもたちの元気な成長のため、「ゆとり」を生かした活発な活動が行われています。

学校・家庭・地域社会の連携で子どもたちの教育を充実

学校週5日制は、子どもたちが「ゆとり」ある生活のなかで、自ら学び、考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育成するのを目的としています。このため、県では、子どもたちが「たくましい体」「豊かな心」「優れた知性」をばくむくことをめざして、子どもたちが主体的に活動できる機会の充実を図っています。

また、子どもたちが健やかに育成するためには、これまで以上に学校・家庭・地域社会が一体となって、子どもたちの活動を有意義なものにしていく必要があります。

学校では、基本的な学習内容を確実に習得させるとともに、「総合的な学習の時間」を新設し、日ごろの学習で得た知識を自然体験や社会体験などに生かせるようにしています。

家庭では、家族のふれあいを通して生活習慣や社会生活上のルールなどを身に付けさせることが重要です。

地域社会では、それぞれの特色を生かした体験活動の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを育てていくことが求められています。

今回の特集では、県内の学校、家庭、地域社会で実際にどのような取り組みが行われているのか紹介します。

教育に地域の人たちがボランティアとして協力

県内の各学校では、創意工夫を生かした教育が行われており、特に「総合的な学習の時間」では、地域の人たちがボランティアとして協力し、子どもたちの学習をより充実させています。

仕事のすばらしさを覚えた炭焼き体験



炭焼き場を見学したことで、興味をもった子どもたちが実際に炭焼きを体験し、仕事の苦労や仕事にかける情熱を知りました。

(氷見市立仏生寺小学校)

祭りの魅力を再認識した曳山の横笛練習



地元の方々からお囃子の横笛を熱心に教わり、地域の祭りの魅力を再認識しました。

(新湊市立放生津小学校)

問合せ 県教育委員会指導課
076(444)3449

県子ども元気活動支援センター

場所 県教育委員会生涯学習室
利用できる 子どもたちの活動に関する情報提供
サービス 子どもたちの活動を支援する指導者やボランティアの紹介
指導者やボランティアなど、地域の人材を育成する研修の実施

各市町村にも子ども元気活動支援センターを設置し、地域に密着した情報提供や相談に応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

問合せ 県子ども元気活動支援センター
☎・FAX 076(445)1844
URL <http://www.kodomogenki.com/>
e-mail kodomo@kodomogenki.com

県では、各地域で行われている取り組みをまとめたモデルプログラム集「学校週5日制アクションプログラム」を「元気に輝く」とやまっ子のV DASH」を作成し、県のホームページなどで紹介しています。また、県と各市町村に、「子ども元気活動支援センター」を設置し、地域社会で子どもたちを育てる環境を整備しています。

皆さんも次代を担う子どもたちのために、まず、自分たちでできることを見つけて、地域でさまざまな活動をしてみませんか。

特集についての問合せは

県教育委員会生涯学習室

☎ 076(444)9647

<http://www.pref.toyama.jp/sections/3009/3009.htm>

山と人にやさしい道を、 一歩一歩つくり続ける



登山道を整備するボランティア
「ブナクラ峠修復グループ」代表
みずぐち たけあき
水口 武彬さん

1941年生まれ 富山市在住

魚津市と宇奈月町の境に位置する駒ヶ岳は、全国に5ヶ所あるという標高2002mの山の一つ。登山道がなく、登るには残雪期か積雪期を選ぶしかなかったこの山に、登山道が開設された。取り組んだのは「ブナクラ峠修復グループ」の皆さん。「2002年の午年に、標高2002mの駒ヶ岳へ」。干支と標高にちなんだ登山を楽しめるようにと、昨年5月から仕事のかたわら山に登り、僧ヶ岳から駒ヶ岳まで2.7キロの道を整備してきた。メンバーは現在18名。



道づくりはすべて手仕事

週末になると水口さんとメンバーは山に登り、登山道の整備をする。水口さんは剪定ばさみを手には、パチンパチンとネマガリダケを一本ずつ切っていく。チェーンソーはもちろん、カマやナタも使わない。「カマを使うと早いんだけど、切り口が竹槍のようになる。思わず手を着いたときなど危険ですから」倒木などはノコギリで根気よく切る。何日もかかることもある。「ほんとに手仕事やね。調子のいい日は、一日に百メートルも進むこともあるけれど、全く進まない日もありますよ」

道をつくるのは、両手を広げた幅だけ。それ以上は木を切らない。道ができるまで、小さく切ったタケを地面に置いておく。タケは、人に踏まれて土と混ざり、雨が地面を削っていくのを防いでくれる。道を傷めないことが、山を傷めないことにつながるのだという。

赤谷山に道をつくりたい

赤谷山に道をつくりたい。若い頃から山が好きだった水口さんには、ずっとやりたいと思っていたことがあった。

「とにかく赤谷山に道をつくりたかった。それで平成四年に仲間四人で始めました」

赤谷山は剣岳北方にあり、登山道のない山だった。水口さんたちは、その北側のブナクラ峠からの道を整えた。ただつくるのではなく、理にかなった道にしたかった。「富山の山は、南や西から雨風が来る。東か北東側に道をつければ、道が壊れないんです」

先輩の登山家からも、よく観察しろと教えられてきた。冷静に観察していると自然が教えてくれる。水口さんたちはブナクラ峠周辺の登山道を次々と整備していった。

自然と共生する道を探りながら

大きな木があれば、切らないで迂回するルートを設定する。生きている木は切りたくない、水口

さんは言う。

「この木がなかったらどうなるかを考えたら、自ずと答えがでます」

木は、表土が直接雨を受けるのを防いでくれる。もし表土が雨で流れれば、草木が育たない。生きた自然を思う心が、水口さんたちの道づくりに生きている。

「山に来て、森林浴や野草観察をして、自然の姿にふれてもらえればいいんですよ」と語る水口さん。山に来れば、自然を愛する心もはぐくまれていくという思いが見える。「ここまでやってこられたのも、いい仲間がいて、いい先輩がいたから。私一人じゃできませんよ」

日に焼けた「山の黒子」は、道を愛おしむように作業を続ける。

この夏、駒ヶ岳は、水口さんたちの心を映したような道で登山者を迎えている。それは小さな道であっても、訪れる人々に大きな自然の感動を与えているに違いない。



水口さんたちの活動で山を楽しむことができた人々も多い。思わず「ありがとう」と言葉が出る。

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山の問題を紹介します。今回は平成14年5月～6月に紹介された92件(広報課調べ)の問題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県のホームページでご覧になれます。

富山を舞台に「釣りバカ日誌13」撮影

映画「釣りバカ日誌13」のロケ撮影が県内各地で行われ、県民から大歓迎を受けたことが紹介された。故郷での撮影に本木監督が意気込みを見せた。県内での劇場公開は7月20日から。

- 夕刊フジ 5月1日、毎日新聞 5月3日、読売新聞 6月12・13日
- サンデー毎日 6月16日

県イメージアップ広告「日本の代表。」に大反響

柳沢選手を起用し、全国から応募が殺到した県イメージアップ広告のプレゼント企画では、県外応募者が富山と聞いて思いつくものとして、「ますの寿司」を抑えて「柳沢選手」が1位に。W杯の代表発表に合わせて第2弾プレゼント企画を実施することが紹介された。

- サンケイスポーツ 5月17日

山海の幸あふれる富山で味勝負

料理漫画「美味しんぼ」の「日本全県味巡り」シリーズで、富山を舞台に味勝負が繰り広げられた。富山の風土や文化、信仰心があつい県民性など、富山の食文化のルーツを探りながら、ゲンゲ料理や報恩講料理などさまざまな郷土料理が紹介された。

- 週刊ビッグコミックスピリッツ 6月3日号～

全市町村に図書館があるのは富山だけ

日本図書協会が、全国の公立図書館の設置状況や図書資料費などのデータを公開。市区町村における図書館設置率が全国平均で50.6%にとどまるなか、富山県だけが全市町村に図書館を設置していることが紹介された。

- 日本経済新聞 5月20日

ホタルイカの竜宮そうめん 幻のますの寿司

『塩田丸男のいのちの「食」訪問』で、新鮮で良質なホタルイカでしか作れない「竜宮そうめん」など、さまざまなホタルイカ料理と、現在はほとんど獲れない神通川産のサクラマスを使ったますの寿司が取り上げられた。

- 週刊新潮 5月23日号・5月30日号

北陸の覇権をかけた魚津城攻め

大河ドラマ「利家とまつ」の番組エンディングコーナーで、魚津城跡に建つ魚津市立大町小学校を訪問。越後上杉軍と佐々成政ら信長軍とが激戦を交わした魚津城をしのんだ。

- NHK総合「利家とまつ」 6月23日

今後の予定

『そして歌は誕生した 風の盆恋歌ほか』

NHK総合 8月16日(金)午後7:30～8:45

なかにし礼さん、石川さゆりさんらが八尾を訪れ、「風の盆恋歌」の誕生秘話を語ります。

『BSイベントホール 佐々成政 戦国を駆け抜けた男たち』

NHK衛星第2放送 9月7日(土)午後5:00～5:55

8月4日に県民会館で開催されるトークイベントの様子を紹介。山口祐一郎さん、天海祐希さん、佐々淳行さんらが登場します。

情報をお寄せください

富山県が全国で紹介された情報などをお持ちでしたら、ぜひ次のところまでご連絡ください。

〒930-8501(住所記載不要)

富山県庁広報課「全国で紹介された富山県」係

☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478

e-mail koho2@pref.toyama.jp

ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

編集部から

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、次の場所で無料配布するほか、郵送による定期購読も受け付けています。

主な配布箇所 / 県庁、県刊行物センター(県民会館1階)、県の各施設、市町村役場、図書館、文化ホール、公共温泉施設、主なショッピングセンター、いきいきKAN(富山駅前CIC5階)、JR駅(一部)、富山空港、東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所

定期購読の申込方法 / 郵便番号、住所、氏名、電話番号、購読回数を明記し、郵送料として1回当たり120円分の切手を同封のうえお申し込みください。

あて先

〒930-8501(住所記載不要)富山県庁広報課「県広報とやま」定期購読係

とやまの情報お伝えします!

こんにちは富山県です
北日本放送テレビ
毎週日曜 11:00～11:30

富山が元氣。
見たモン勝ち2
チューリップテレビ
第4日曜 10:00～10:52

とやまDASH!
フォーカス・イン
富山テレビ
毎週日曜 9:00～9:30

とやま県聞録
FMとやま
毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」

8月10日・31日の朝刊各紙に掲載予定
県のホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県広報とやまのホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/toyama/saishin.htm>

県政クイズ

県では県民の皆さんのご意見を
県政に反映させるため、

新たに「県庁」を始めました。

を埋めてください。

答えは2ページを読めばわかります

応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年令と本誌の感想を記載。

あて先 / 〒930-8501(住所記載不要)

富山県庁広報課「県広報とやま8月号」クイズ係
締切 / 8月23日(金)(消印有効)

正解者の中から20名の方に、「とやま健康パーク」1日利用券をペアでプレゼントします。
(当選の発表はプレゼントの発送をもって
かえさせていただきます)



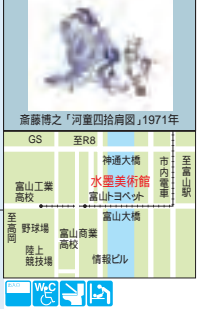
近代美術館

ユトリ口展
【～8/4(日)】
一般 900円 / 高・大 650円 / 小・中 450円
出光コレクションによる サム・フランシス展
【8/10(土)～9/16(月・休)】
豊かな空間と華麗な色彩で知られるアメリカを代表する抽象画家、サム・フランシスの代表作約60点を紹介します。
一般 900円 / 高・大 650円 / 小・中 450円
いずれも常設展示もご覧になれます。
9:30～17:00(入館は16:30まで)
休 月曜・祝日の翌日(8/12、9/2、16、23は開館) 9/17
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



水墨美術館

馬とカッパと絵本の世界 斎藤博之展
【～8/4(日)】
一般 500円 / 高・大 400円 / 小・中 250円
常設展示もご覧になれます。
中国交正常化30周年記念 現代中国水墨画展
【8/9(金)～25(日)】 無料
現代中国を代表する水墨画家38名の作品約60点を展示します。
9:30～17:00(入館は16:30まで)
休 月曜・祝日の翌日(8/12、9/2、16、23は開館) 9/17
常設展示観覧料 一般 200円 高・大 160円 小・中 100円



中央植物園

写真展「夏の夜に咲く花」
【8/2(金)～21(水)】
サガリバナや夜咲きスイレンなど夜にしか見られない植物の写真を展示します。
日曜植物案内
【8/4(日) 11:00～12:00】
いずれも入園料が必要です。
夜間開園「夜の温室植物」
【8/14(水) 15(木) 19:00～21:30】
夜間特別料金 一般 300円 / 小・中 150円
9:00～17:00(入園は16:30まで)
休 木曜 入園料 一般 600円 小・中 300円



立山カルデラ砂防博物館

企画展
「立山カルデラの妖精 - クモツマキチョウ -」
【～9/8(日)】 無料
県の天然記念物、クモツマキチョウなど、蝶を通して立山カルデラの自然の奥深さを考えます。
9:30～17:00(8月中は8:30～)
休 月曜・祝日の翌日(9/16、23は開館) 9/17
8月は無休
常設展示観覧料 一般 400円 高・大 320円 小・中 200円



県民公園太閤山ランド

ふれあい農園・夏野菜収穫祭
【8/4(日) 10:00～13:00】
収穫した野菜でバーベキューを楽しめます。
参加料 大人 1,000円 / 小学生以下 500円
ウィークナイトファンタジー
【8/10(土)～17(土) 18:00～21:00】
夕涼みがてらお気軽にご来園ください。
8/11(日)イルミネーション 太閤山ランド
8/17(土)サマーナイトフェスティバル
9:00～17:00(9/1までは～18:00)
休 火曜・祝日の翌日(8月は無休、9/16は開園)
入園無料(駐車料金は別途必要)



自然博物館ねいの里

日鳥連「わたしの自然一品展」
【～8/9(金)】
県内のカブト・クワガタ飼育展示
【～8/31(土)】
園内で飼育したカブトムシや県内で採取されたクワガタムシを展示します。
自然保護協会写真展
【8/9(金)～9/9(月)】
9:00～16:00
休 火曜・祝日の翌日(9/16は開園)
入園無料



こどもみらい館

異文化体験ミュージアム
【～9/1(日)】
環日本海諸国の典型的な住まいを再現し、各国の子どもの日常生活が体験できます。
世界の玩具遊び
【8/24(土)～9/16(月・休)】
世界各地の音の出るおもちゃなどに触れて遊べます。
9:30～17:00(8月中は～18:00)
休 火曜・第4水曜、祝日の翌日(8/13、9/16は開館)
入館無料



海王丸パーク

総帆展帆
【8/4(日) 9/8(日)】
29枚すべての帆をひろげ、「海の貴婦人」とよばれる海王丸の美しい姿を披露します。
入園自由 帆船海王丸乗船は9:30～17:00(8月中は～18:00、8/4のみ～21:00)
休 月曜・祝日の翌日(9/16は乗船可) 9/17
乗船料 一般 400円 小・中 200円



とやま健康パーク

3周年記念特別展「四部医典タンカ展」
【～8/31(土)】
チベットの医学辞典を絵解きした貴重な資料を展示します。
企画展示「けむりっておいしいのかな？」
【8/10(土)～8/25(日)】
喫煙と健康に関するパネル展示や実験を行います。
休 月曜(8/12は開館) 健康スタジアム 10:00～22:00(日・祝は～19:00) 8/11(日)は～22:00
1日 1,800円 / 3時間 1,500円 / 2時間 1,000円
生命科学館(展示場) 9:30～17:00 200円
屋外健康づくり施設 9:30～17:00 無料
小・中学生は半額、幼児は無料です。



公文書館

特別企画展「利家と成政」
【8/22(木)～10/31(木)】 無料
利家と成政が、戦国の動乱の中をどのように歩いていったかを、古文書やパネルなどでたどります。
講演会「利家と成政」
【8/30(金) 14:00～16:00】 無料
講師 / 長谷川孝徳(石川県立歴史博物館学芸専門員)
要申込 定員100名(申込順)
9:00～17:00
休 土曜・日曜・祝日(会期中は無休)
入館無料



県民共生センター

サンフォルテ公開講座
【9/21(土) 14:00～15:30】 無料
夫婦そろってアナウンサーという環境の中で、積極的に子育てにかかわっている、フジテレビの笠井信輔氏が講演を行います。
往復八ガキに住所、氏名、電話番号、一時保育(2歳～就学前)希望の有無を記載のうえ、お申し込みください。
募集締切 9/7(土) 定員350名(抽選)
9:00～21:00(日曜～17:00)
図書室 9:00～20:00(日曜～17:00)
休 月曜・祝日



県民小劇場オルビス

舞台芸術・芸能発見ライブ in ORBIS
ボカリン記憶舎っておもしろい!
【9/10(火)・11(水) 開演18:30】
ダンスにも演劇にもあてはまらない自由で新しいパフォーマンス活動を続けているボカリン記憶舎の公演を行います。
3,000円(前売・当日とも)全席自由



近代美術館、水墨美術館、中央植物園、立山カルデラ砂防博物館、とやま健康パーク 生命科学館は土日・祝日の小・中学生、高校生の観覧料、入園料は無料です。